

総括質問

湘南フォーラム

内堀 祐一 議員

決算について

問 景気低迷が続く中、本
当にだれも満足する市民
サービスがなされたのか。

市長 行政は市民が納得す
るサービスの提供を目指し
ている。事業の選択を行い、
財源と人材を活用し、将来
を見据えた中で市民が主役
のまちづくりを進める。

問 福祉関係の窓口や電話
での応対時に、専門的な相
談や援助ができる体制をと
り、高齢者や障がい者など
多くの方が満足できる市民
サービスを提供できないか。

福祉部長 昨年度から相談
員を2名増員し、相談に臨
んでいる。

財政の展望について

問 少子高齢化時代におい
て歳入を増やすために、ど
のような施策や、中長期の
展望を持っているのか。

市長 市税の収納率を向上
するため、国税庁のOBな
どを採用して強化を図る。
また未利用の市有財産も活
用していく。今後も将来を
見据え、歳入の確保と、「選
択と集中」による歳出の見
直しを進め、着実な財政運
営に取り組んでいく。

9月定例会では18人の議員が、地域防災計画
や事業仕分け、決算の状況、教育行政などに
対し質問を行いました。

※質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています

つづめについて

問 本市における扶助費の
現状と課題を伺う。

市長 前年度と比べ約3億
7000万円増加してい
る。課題は社会保障制度が
現行どおりの場合、毎年一
般財源に約5億円の増加が
見込まれ、ほかの事業に与
える影響も大きく、厳しい
財政状況が続くことである。

問 生活保護費の不正受給
が発生しないような体制づ
くりをしているか。

福祉部長 5月に警察と不
正受給の取り扱いについて
連絡会を立ち上げた。今後
も給付の適正化、就労自立
支援の強化を図る。

奏プランについて

問 本市の小・中学校にお
ける「いじめ」の現状につ
いて伺う。

教育長 4月から7月の間
に小学校では21件発生し
た。このうち7件が解消し、
14件は一定の改善が見られ
経過を見守っている。中学
校では33件発生した。この
うち20件が解消し、11件は
一定の改善が見られ、2件
は指導を継続している。

問 家庭や学校に代わるも
のとして、放課後児童クラ
ブの充実を図るなどの改善
ができないか。

健康・こども部長 今後は
自治体の責任が重くなるこ
う認識でクラブの運営に

当たってほしい。

公民館を通して地域に

問 公民館を通して地域に
おける教育力の向上を図る
生涯学習社会が実現でき
れば、支え合う環境がで
きる。

社会教育部長 高齢者の豊
富な経験や知識の活用、世
代間交流による地域文化の
伝承や人々の交流、さら
に学びに関連した地域団
体の橋渡しなど、高齢者の
社会参加の促進や、学びの
意欲が継続できるような環
境づくりに努めていきたい。

問 高齢者が元気で健康に
暮らせば、防災や減災、
地域の活性化、医療費や介
護費の削減にもつながる。
スポーツや芸術、湘南ベル
マーレなどのスポーツ選手
の活用も含めて地域施策を
行ってほしい。

小泉 春雄 議員

平塚駅バリアフリー

問 平塚駅北口のバリアフ
リー化は不完全である。J
Rと本市は現状をどう考
えているのか。

まちづくり事業部長 JR
は、改札口から駅ビル内
のエレベーターを通じて南
口の広場に至るルートによ
り、南口・北口のバリアフ
リーは整備できたものと
認識している。本市として

は、改札口から北口の駅前
広場までの段差の解消が課
題であると認識している。
問 車いすの利用者など、
バリアによって移動が困難
となる方への対応はどの
ようになっているのか。

まちづくり事業部長 ラス
カの営業中はラスカのエレ
ベーターを利用する。営業
時間外は駅員に声をかけて
事務所横のエレベーターを
利用することになるが、常
時の対応は困難とのこと。
利用しづらい状況である。

問 市長はこのままで仕
方ないと考えているのか。

市長 バリアフリー化につ
いて、現状のままでよいと
は思っていない。今後はよ
り強くJRに呼びかけ、バ
リアフリーを提供できるよ
う対策を進めていきたい。

通学路の安全対策

問 通学路の設定は誰がど
のように決めているのか。

確認された。平成25年度に
新棟工事に着手し、平成28
年度の完了を目指す。

ツインシティの整備

問 ツインシティの整備に
は誤りのないよう取り組ん
でもらいたい。ツイン
シティ大神地区土地画整
理組合設立準備会」では地
元とどのように合意形成を
図っていくのか。

まちづくり事業部長 権利
者自身が事業の成否を含む
判断ができるような資料を
示しながら、合意形成を
図っていく方針である。

まちづくり事業部長

問 準備会への補助金とし

学校教育部長 毎年、学校
やPTAなどが児童・生徒
の安全について検討し、学
校長が決めている。

問 本市の小学校のうち、
集団登校を実施しているの
は何校か。

学校教育部長 28校中24校
である。そのうち通年実施
は14校で、期間限定で実施
しているのは10校である。

問 教育委員会は、集団登
校のメリット・デメリット
をどう認識しているか。

学校教育部長 他学年との
交流が図られ、児童が一人
になることが少なく、防犯
上安全が図れることが利点
である。欠点としては、行
列で歩くため交通事故に
遭った場合に被害が大きく
なることなどがある。

山原 栄一 議員

保育園の待機児童 解消に向けて

問 待機児童は、前年や過
去の人数を上回る勢いで増
加している。ここで新たな
手を打たなければ、また年
間を通して多くの待機児童
を抱えていくことは明らか
である。どのように対応し
ようとしているのか。

健康・こども部長 待機児
童対策は、認可保育所の新
設や増設などで定員を拡大
することが最も効果的であ
るが、本市は未就学人口に
対する認可保育所の施設整
備率が県内では高いことか
ら新設は難しい。当面は既
存施設の建て替えや改修に
合わせた定員の拡大と、入
所定員の弾力運用を効率的
に実施していく。現在、平
塚保育園が新園舎を建設中
であり、来年4月に15名の
定員増となる。

伊豆市と友好都市を

問 これまで30年にわたり
静岡県伊豆市と数多くの交
流を重ね、絆を深めてきた。
平塚市の市制施行80周年を
記念して、伊豆市との友好
都市提携を提案する。

市民部長 伊豆市とは市民
の交流も盛んに行われ、「市
民休養の郷」から一歩進ん
だ友好都市提携に向け機運
が高まってきている。今年
度中の締結を目指し準備に
入りたい。

問 国や県の方針に従え
ば、また以前と同じ待機児

出村 光 議員

三大事業の進捗は

問 市役所新庁舎建設工事
の進捗状況と、第2期工事
に向けた状況を伺う。

副市長 汚染土の除去後、
本格的に本体工事に着手
し、第1期工事は平成26年
5月に完了する予定であ
る。現在第2期工事の工法
を検討しており、工事費の
増額は12月定例会で補正
計上する予定である。

副市長

問 本体工事のほかに必要
となる費用と、予算措置の
考え方を伺う。

副市長

副市長 外構・植栽工事費、
移転費、備品購入費、新館
の改修費などが必要な年度
に予算計上する。

問 市役所前交差点の改良
工事と、周辺道路の整備計
画について伺う。

副市長 現在の変形交差点
を十字交差に変更する予定
で、第1期工事の完成時に
は使用できるよう整備の時
期を検討していく。

副市長

問 次期環境事業センター
の整備の進捗状況を伺う。

副市長 汚染土壌の除去に
よる中断で工事が遅れたた
め、工期は平成25年9月30
日まで6か月延長する。

問 市民病院整備事業の進
捗と工期を伺う。

副市長 コンクリートの強
度不足は、再検証で安全が

確保されている。

※奏(かなで)プラン：平塚市の教育振興基本計画